



2010年度經濟分析ゼミ労働班 活動計画

班員：日吉、伊藤、岡崎、峯岸、宮里



研究テーマ

若年層の雇用問題について

問題意識

1990年代以降、若年層の雇用情勢が悪化している。15～24歳の層では全年齢層の失業率を大きく上回っており、2003年には10.1%とピークを迎え、現在も高水準で推移してる。

また、フリーターに代表される非正社員の割合が増えていることから、将来的には日本の労働人材の質の低下につながる懸念される。

分析の流れ

現状把握

- ・ 若年層の雇用情勢の現状を理解する
- ・ 失業率上昇、フリーター増加の原因

雇用政策

- ・ 各種雇用政策の役割を理解する
- ・ 政策評価

(仮)結論

- ・ 労働需要側、または労働供給側に問題がある
- ・ 雇用政策は若年失業者やフリーターを支援できない

使用教材

財団法人 社会経済生産性本部
生産性労働情報センター(編)

『新時代の若年雇用政策の方向』